

ホームページアドレス
<http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/>
 ☎=問い合わせ先
 内=内線番号
 ◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎21111
 ◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎32111
 ◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎462111
 ◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎342111

案内

ひとり親家庭医療費更新申請書および児童扶養手当現況届

ひとり親家庭医療費および児童扶養手当の受給者は、毎年(1回)、ひとり親家庭医療費更新申請書および児童扶養手当現況届を提出する必要があります。これらを提出しないと、引き続き医療費の助成や手当を受けることができませので、必ず提出してください。

受給者には、申請書などを後日送付します。
 ●受付期間 ▼ひとり親家庭

被災住宅復旧支援事業

市では、震災で被災した住宅の復旧工事(屋根・壁・床・基礎等の修繕補修工事など)を対象に補助金を交付します。
 ●対象 自ら居住しており、一部破損以下の被害を受けた住宅(全壊・大規模半壊・半壊の住宅を除く)
 ※り災証明がない場合、写真等で被害が確認できること
 ●補助金額 対象工事費の10%補助(上限15万円)
 ●申請期限 11月30日(水)まで(平成24年3月31日までに工事が完成する事)
 ●災害対策生活支援 ☎21135 / 本庁舎建築住宅課 内2264 ※各庁舎事業課でも窓口対応しています。

ふるさと川まつりにたいしん「がんばっぺー!たいしん!」

●日時 7月30日(土)/午後3時~8時30分
 ●会場 大信農村環境改善センター前駐車場(大信増見)
 ●内容 ウルトランマンショー、盆踊り大会、花火大会など

医療費 7月15日(木)~29日(金)
 ▼児童扶養手当 8月1日(月)~31日(水)(土・日・祝日を除く)
 ●手続き・問い合わせ先 本庁舎こども課 内2731 / 各庁舎教育振興課 表郷 ☎4782 大信 ☎463975 東 ☎34146

地域づくり総合支援事業

県では、地域活性化に取り組み団体・集落などに対して地域づくり総合支援事業(サポート事業)の募集を行っています。今回の募集は、「震災復興へ向けた取り組み(風評被害対策を含む)」を最優先テーマにしています。

●対象事業および助成額

▼一般枠 民間団体が取り組む広域的、先駆的、モデル的な事業で、補助率3分の2以内(上限500万円)
 ※震災復興に関連する事業は最大10分の10(上限100万円)
 ▼過疎・中山間地域集落等活性化枠 集落等活性化に関する事業全般。集落等は5分の4以内(地域づくり計画に関

●同時実行委員会事務局(大信庁舎事業課内) ☎463973

「平和の鐘(かね・おと)を鳴らそう!」運動

「平和の鐘を鳴らそう!」は、「世界の子どもたちのための平和の文化と非暴力の国際10年」の主要事業です。ノーベル平和受賞者たちによって起草された「わたしの平和宣言」を紹介しながら、平和への祈りと願いを込めて、市内のお寺で鐘を鳴らします。

●日時 7月19日(火)/正午

《わたしたちの平和宣言》
 ①すべての命を大切にします
 ②どんな暴力も許しません
 ③思いやりの心を持ち、助け合います
 ④相手の立場に立って考えます
 ⑤かけがえのない地球環境を守ります
 ⑥みんなで力を合わせます

●ユネスコ協会(本庁舎生涯スポーツ課内) 内2383

血管若返り教室

市では、糖尿病ゼロ作戦に

する事業は10分の10以内)、協定団体は3分の2以内(いずれも上限500万円)。
 ●募集期限 ▼一般枠 8月26日(金)まで ▼活性化枠 期限はなく随時募集します。
 ●提出先 本庁舎地域支援課(2階)
 ●県南地方振興局企画商工部 地域づくり・商工労政課 ☎1546

東日本大震災復興祈願

「市民納涼花火大会」協賛

「市民納涼花火大会」を8月7日に、城山公園で開催します。本大会は東日本大震災復興祈願として開催されるもので、皆さんからの協賛をお願いします。

●申込方法 (助)観光物産協会、白河商工会議所、本庁舎商工観光課までご連絡ください。

●(助)白河観光物産協会 ☎21147

内閣総理大臣名の書状贈呈

第二次世界大戦中に外地などに派遣され、戦時衛生勤務に従事された旧日本赤十字社

取り組んでいます。

糖尿病は早期発見・早期治療が大切です。その一環として、平成23年度特定健康診査の結果、①空腹時血糖110mg/dl以上125mg/dl以下またはHbA1c5.2%以上6.0%以下の方、②空腹時血糖95mg/dl以上・HbA1c5.2%以上で、家族歴に糖尿病・心血管疾患・脳血管疾患のある方を対象に、「血管若返り教室」を開催します。

●日時・内容 ①8月2日(火)/午前9時30分から/医師の講話 ②8月17日(水)/午前9時30分から/栄養士の講話 ③9月5日(月)/午後1時30分から/有酸素運動 ④10月5日(水)/午後1時30分から/有酸素運動 ⑤11月7日(月)/午後1時30分から/有酸素運動 ⑥11月21日(月)/午前8時30分から/血液検査 ⑦12月14日(水)/午後1時30分から/教室のまとめ ※①の医師の講話以外は64歳までの方が対象です。

●会場 中央保健センター(北中川原)
 ●申し込み・問い合わせ先 本庁舎健康増進課 ☎2112

救護看護婦および旧陸海軍従軍看護婦の方(慰労給付金受給者を除く)に、その労苦に報いるため、内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。ご本人またはご家族などからの連絡をお待ちしています。
 ●請求期限 平成25年3月31日まで
 ●総務省大臣官房総務課管理室業務担当 ☎03・5253・5182

毎月勤労統計調査特別調査

常用労働者を1人から4人雇用している事業所(7月31日現在)を対象に、毎月勤労統計調査特別調査を実施します。

この調査は、賃金・労働時間および労働者数の動向を明らかにするための調査です。8月から9月にかけて、統計調査員が調査対象事業所に伺いますので、調査の回答をお願いします。

●県統計調査課 ☎024-521-7145 / ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/31-1.html>

第2期福島県文化振興基金助成事業

県では、県民の文化活動支援を目的に8月1日から11月30日までに左記の事業を対象に、助成申請を受け付けています。

●対象事業 ①広く県民に公開する文化活動の成果発表事業(美術展、音楽会、演劇などの公演や文芸誌出版など)
 ②発表会や公的機関から招へいされて参加する事業など
 ●対象者 県内に住所または活動の本拠を有する個人(県外在住の県出身者も含む)または団体
 ●受付期限 7月28日(木)まで
 ●本庁舎生涯学習スポーツ課 内2384

白河市の地上デジタル放送

福島、宮城、岩手県の3県以外の地域の放送局では、7月24日(日)をもって地上アナログ放送が終了するため、視聴することができなくなります。福島県では、7月24日から1年以内に地上アナログ放送が

終了する予定です。

アナログ放送終了以後は、デジタル放送でテレビを視聴することになります。次のいずれかを対応してください。
 ①地上デジタル放送対応のテレビに買い換える。
 ②地上デジタルチューナが付いた設備(チューナやビデオ等)を買い足す。

※どちらも、UHFアンテナが必要になります。
 ●デジサポ福島 ☎024-505-1010 / 総務省地デジコールセンター ☎0570-07-0101

お願い

土砂災害に注意を

梅雨の時期を迎え、がけ崩れや地すべり、土石流などの土砂災害の危険性が高まっています。

特に今年は、震災の影響により、地下深くまで地盤がゆるんでいきますので、少量の雨でも土砂災害が発生する恐れがあります。

気象や土砂災害に関する警報などに注意し、少しでも危険を感じたら、早めに避難するように心掛けてください。

《こんな現象にご注意》

▽がけ崩れ ・がけから小石がパラパラ落ちてくる ・樹木がゆれる ・斜面から水が湧き出るなど

▽土石流 ・川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花が見えたりする ・川や沢の流れがにごり、生木が流れてくるなど

▽地すべり ・池の水がにごったり、減ったりする ・地鳴りや山鳴りがするなど

※これらの現象が見られなくても、土砂災害が発生する場合があります。

●本庁舎道路河川課 内2273

義援金詐欺に注意を

最近、市役所職員を名乗り、義援金名目で個別訪問による募金活動をしている事例が発生しました。

市では、個別訪問による募金活動等は一切していません。このような訪問者があつたら

7月16日(土)~25日(月) 夏の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

◇運動スローガン
『安全運転
ココロのベルトも
引き締めて』

◇運動の重点
①すべての座席のシートベルト・チャイルドシート
の正しい着用の徹底
②悪質・危険な運転の根絶
③自転車の安全利用の推進

●本庁舎生活環境課 内2162

110番か、白河警察署に通報してください。

●白河警察署 ☎0110

省エネ活動を

福島第一原発事故により、今年の夏の電力不足が心配されています。夏は、冷房機器の使用などで電力の使用量が増え、二酸化炭素の排出が増加するため、地球温暖化の大きな要因となります。

市民や企業の皆さんに、節電・省エネに努めていただき、ますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

●本庁舎生活環境課 内2165

まちかど伝言板

親子でかぶと虫・くわがた取り

●日時 7月24日(日)／午後6時30分～8時
●会場 白河ゴルフ倶楽部(限戸)
●内容 かぶと虫・くわがた取り、花火大会など
●参加料 無料(先着100人)

●NPO法人白河ゴルフ倶楽部 ☎2300

ペシャワール会現地活動報告写真展2011

アフガニスタン医療支援団が取り組んだ農地再生の道のりを写真で紹介いたします。

●日時 7月8日(金)～10日(日)／午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)

●会場 ホテル&コテージ 白河関の里(表郷金山)
●NPO法人表郷ボランティア ネットワーク ☎080・5557・7072

財立教志塾7月定例研修会

●日時 7月19日(火)／午後7時から
●会場 文化センター(中田)
●内容 「原発震災 福島3・11から未来へ」／元NHK解説委員・解説主幹 小出五郎氏
●参加料 無料(先着100人)
●(財立教志塾 ☎1427



『現場の強さ』 白河市長 鈴木 和夫

市長の手摺え帖

夏を迎えました。あの震災から四月たとうとされていますが、いまだ原発災害は収まる気配が見えません。フクシマは、原発の悲劇の象徴として歴史に刻み込まれそうです。さて、時の経過とともに色々なことが見えてきました。そのひとつに現場の強さがあります。惨禍の中、冷静さを保ち、苦しみに耐えている日本人への称賛の声が聞かれます。また、救助の現場での自衛隊・警察・消防の働き。使命感に満ち、秩序だった機敏な仕事ぶりには誰しもが共感しました。消防団は地域の宝、安心と信頼の象徴です。同様に自衛隊・警察は国を守り、地域を支える砦。特に自衛隊はその生い立ち不幸でしたが、今や国民の信を得た正統な防衛組織です。この国会で思わず「暴力装置」と言い放った偉い政治家がいました。場を取り違えた妄言だと気づいているでしょうか。

農耕の民、日本人のものづくりの強さは生産現場にあると思ってきました。そして、自治の現場での公務員の働きです。行政は縁の下で一杯努めたと思います。土砂崩れへ重機を回す、漏れをふさぎ水を通す、道路の点検と応急措置、避難者への生活支援、あふれ出るごみの収集運搬に汗をかきました。宮城県南三陸町の女性職員は、拡声器で津波の襲来を町民に知らせるさなか流されました。大槌町では町長を含め32人が犠牲になり、人員不足で苦勞しています。双葉地方でも避難者支援に忙殺、過勞で倒れる職員が相次いだとのこと。役所でも最小の経費で最大の効果をあげるのにはあたりまえ。と言っても、頭数を減らせば済む話ではありません。市民生活を支えるには、意欲と実行力のある公務員を一定数確保することが必要だと思えます。

この災害で、大きいもの権威や信頼が崩れ、タテの流れももうまく働かないことが分かりました。一方、自治体のヨコのつながりには助けられました。行田・桑名・沼田・渋川、山口・防府・下関・萩、大垣・瀬戸市の市長と電話がやりとり。すぐに水・毛布・食料品が届き、応援の職員も派遣されてきました。前横浜市長が自ら運転し粉ミルクを持参、隣りの那須町長から貴重なたじろいでの折の救いの手はあたたかいものです。東京政府は近くても遠い・大きくても小さい。地方政府は遠くても近い・小さくても大きい。タテからヨコへ、集中から分散へ。時代の変わり目を予感します。